

授業概要

環境問題を扱う学問では日本の高度経済成長の犠牲として、公害問題や自然破壊が生じたという言説が一般的である。しかし、本講義では、公害に苦しむ人々土台にして、あるいは様々な生物のジェノサイドのうえに成り立っていた経済成長であったという認識にたつ。このような考え方にに基づき、環境問題を解決するための経済学の一分野である「環境経済学」を扱うものとした。

環境経済学は、環境問題を外部性の問題（外部不経済）として捉える学問であるが、実際の環境問題においては、市場経済からのアプローチのみで説明・解決できることはそう多くはない。そのため、本講義では、環境経済学的視点を環境問題を可視化させるための有力な手段のひとつとして中心軸におき、多面的・多角的な考察を試みる。

授業計画

第1回	野生動物は誰のものか：野生動物への対策が観光に与える影響1
第2回	野生動物は誰のものか：野生動物への対策が観光に与える影響2
第3回	野生動物は誰のものか：野生動物への対策が観光に与える影響3
第4回	ペット産業の間：殺処分はなぜ受益者の負担ではないのか1
第5回	ペット産業の間：殺処分はなぜ受益者の負担ではないのか2
第6回	ペット産業の間：殺処分はなぜ受益者の負担ではないのか3
第7回	公害と高度経済成長：政官財学の癒着構造が生んだ罪なき被害者たち1
第8回	公害と高度経済成長：政官財学の癒着構造が生んだ罪なき被害者たち2
第9回	公害と高度経済成長：政官財学の癒着構造が生んだ罪なき被害者たち3
第10回	福島原発事故：日本経済を破たんに追いやる原子力発電1
第11回	福島原発事故：日本経済を破たんに追いやる原子力発電2
第12回	福島原発事故：日本経済を破たんに追いやる原子力発電3
第13回	沖縄米軍基地移転問題：偏狭なナショナリズムと戦争、人権、自然破壊1
第14回	沖縄米軍基地移転問題：偏狭なナショナリズムと戦争、人権、自然破壊2
第15回	沖縄米軍基地移転問題：偏狭なナショナリズムと戦争、人権、自然破壊3
第16回	総括：環境問題を環境経済学視点で捉えることの重要性について

到達目標

「環境問題は社会問題である」ことを理解するために、個人の努力や価値観で考えるのではなく、様々な角度から問題を検証する習慣を身につけることができるよう、受講者の「多面的視点」を養成することを目的としたい。さらに、グループディスカッション（受講者参加型学習）を導入することで、受講者の情報共有や多様な価値観の相互理解の促進、コミュニケーション能力向上の寄与につなげたいと考えている。

履修上の注意

本講義では、4～6名程度のグループをつくり、グループディスカッション形式で行ないたいと考えている。そのため、欠席者がいると講義進行に支障をきたす恐れがあるため、できる限り避けるようにすること。ただし、新型コロナウイルス感染が懸念される場合は座学に切り替えるものとする。

予習復習

予習は、次の講義で扱うテーマのチェックは必ずしておくこと。授業内で予習や事前準備等の指示をすることがある。原則的に講義毎に必ずレポートまたは感想文を提出してもらうことで復習の一環としたい。これは講義を聞くだけでなく、学んだことを忘れないうちに整理し、自分のものにするための訓練である。講義で使用するもの（例えば、スーパーのチラシなど）については、事前に準備しなければならない時があるので、その旨の指示があった場合は前もって時間をかけて集めておくようにすること。

評価方法

グループディスカッションにおける発表（80%）と筆記試験（20%）によって評価する。

テキスト

資料が必要な場合は、その都度こちらで用意するので、特に必要はない。